



野木小だより

平成28年3月24日

— 第12号 —

野木町立野木小学校長

江田 裕之

6年生に感謝の気持ちを届けました！

2月26日（金）、児童会が企画し、「6年生を送る会」を行いました。2年生のエスコートで、中央階段を降りてくる6年生の胸には、手づくりのメダルが掛けられました。主役の6年生は、多目的ホールからの下学年の児童の大きな拍手に、照れた仕草と表情をしていました。実行委員長の5年生の代表児童は、感謝の気持ちを伝える会であることに加え、行事の先頭に立って



活躍してくれた6年生のようになりたいとあこがれの気持ちを添えてあいさつをしました。6年生にちなんだ〇×クイズの進行役の豊かな表現力、これも

6年生の影響と感化がありました。今年度のメインとなる活動は、6年間の最後となる児童の大好きな学年縦割り班による「なかよし活動」でした。3年、4年、5年の代表委員と児童会の各委員会の5年の代表者が、みんなで仲よく楽しめるゲームを運営するお店をなかよし班ごとに回る企画をしてくれました。下学年の手を引く6年生も、下学年を優先してシールをあげる6年生も、今日ばかりは大切な主役であることを下学年の児童もしっかりと心得ていました。異年齢の集団での学びは、こうした体験から身に付くことを実感したシーンでした。

5年生から6年生へ手渡された贈り物は、なかよし班のメンバーのメッセージが書かれた色紙でした。6年生は、運動会で躍動したダンスを披露し、その後各学年にお礼の気持ちを込めて、思いを託したメッセージを届けてくれました。

そして、今では大きく成長した1年生に手を引かれながら会場を後にしました。

地域の皆様、ボランティアの皆様へ感謝！

多くの教育活動に地域の皆様のご協力やご支援をいただきました。おかげさまで、学校だけではできない活動も可能となり、すべての学年の児童の学習等を充実させることができました。そして、今年度は、体育館2階に「ボランティアルーム」を開設し、本校に来ていただいた皆様に自由にお茶を飲みながら利用していただくようにしました。これからもご利用ください。



2月18日（木）、「夢ぼけっと」さんによる今年度最後の読み聞かせが行われました。その後、6年生による感謝の会を行いました。

2月23日（火）、本校の教育活動を支援してくださる学校支援ボランティアの皆様を招待し、児童会による「感謝する会」を行いました。年間を通して登下校の見守りをしてくださる地域の皆様へ感謝しています。また、地域コーディネーターである田部井一男様のお力添えで、農園活動、落ち葉掃き、花壇整備、昔遊びなどへの支援の輪を広げていただきました。児童代表によるお礼の言葉とともに全校児童で「ありがとうございます」の気持ちを伝える会となりました。その後、



1年生、2年生、4年生は、子どもたちの歌声で、3年生、5年生、6年生は、リコーダーや鍵盤ハーモニカの合奏で温かく教室にお迎えし、それぞれに分かれて、子どもたちと一緒に給食を食べていただきました。今後も、よろしくお願ひします。

20名が本校を卒業しました！

3月18日(金)、多くのご来賓、地域の皆様、保護者に温かく見守られながら、卒業式を挙行いたしました。春本番を思わせるような穏やかで暖かい日となりました。今年度は、20名の児童が本校を巣立っていきました。これからの人生を力強く歩んでほしいという思いとこれまでの感謝の気持ちを込めて卒業生一人一人に、卒業証書を手渡ししました。



学校長の式辞には、最高学年としての1年間の出来事を中心に、一人一人が輝いていた様子やその時々のエピソード

を添え、卒業生全員の氏名を盛り込みました。また、卒業を控え、校長室でグループごとに会食をしながら、中学校生活や将来の夢について話を聞かせてもらいました。もうじき始まる中学校生活、新しい教科への期待と部活動に対する抱負を誰もが真剣に語ってくれました。また、家族への感謝の気持ちとともに、将来は人のためになる仕事に就きたい、社会のために役立つ人になりたいなど、確固たる考えを持っていることを紹介しました。卒業生20名、一人一人の持ち味は異なっていました。学級は一つにまとまっていた。

「木琴には、同じ板は一つもない。すべての板が役割を果たしてはじめて、木琴は楽器として音を出せる。」



卒業生が残した実績や思い出は、在校生に受け継がれたと確信します。そして、私たちは、本校の歴史と伝統を継承しつつ、よりよい校風を

作り出せるような教育活動をこれからも進めていきたいと新たな誓いを胸に刻みました。

「チーム野木小」の一員として成長しました！

1学期は、「自分よさを見つける」、2学期は、「感謝と感動」、3学期は、「チーム野木小」をテーマとして教育活動を進めてまいりました。

児童一人一人が「チーム野木小」の一員であり、大切なメンバーであることを、3学期の始業式に話しました。そこで、どんな小さなことでもチームの一員として実行してきたこと、実行するために心がけてきたことを児童全員に書いてもらいました。「チーム野木小」は、右のような掲示物として修了式で紹介しました。児童会活動や



なかよし活動で下学年をリードしたこと、委員会や係の仕事を、責任をもってやり遂げたこと、友だちにやさしい言葉をかけてあげたこと、元気なあいさつをしたことなど、それぞれの思いが込められていました。これらのすべてが、「チーム野木小」としての成長の証しであり、本校の自慢でもあります。

1年間ありがとうございました！

保護者の皆様、地域の皆様の温かいご支援のおかげで、滞りなく教育活動を進めることができました。1年間の児童の様子は、おおむね以下のとおりです。

- 児童の交通事故 0件
- 欠席者数 のべ213人(1日平均1.08人)
- 欠席0の日 72日
- 下校時刻の変更等緊急メール配信 35件
- 大雨による臨時休業 2日
- インフルエンザによる学年休業
(第2学年 3日、第3学年 4日、第6学年 1日)

支えてくださった皆様に、心から感謝申し上げます。大変お世話になりました。